

令和5（2023）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

駒沢どろんこ保育園

特定非営利活動法人福祉総合評価機構

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にんげん力」を身に付けるために必要な遊び・野外体験を提案実践し”自分で考え、行動する思考”を育みます。 ・10よりも100の経験を与え、子どもが”したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援してゆきます。 ・“感じたこと・考えたこと”を言葉でジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成します。 ・「0を1にかえる力」を日本中の子ども達につけ、物事を投げ出さずに向き合う若者が社会を支える世の中を創ります。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育現場で求める人物像 現状に満足せず自己の成長を常に意識している人 やって見せてあげて背中であげてゆける人 より良い保育を目指して創意工夫していける人 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての質向上 忙しさや大変さを表情や口調に出さず、いつでも笑顔を心がける。お願いします、ありがとうございます、など仕事中的言葉遣いに注意し、正しい日本語を身に付ける。子ども全体を見て自分が今、何をすれば良いのかを判断して、自ら行動したり、提案する。

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯83(在籍児童数103)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	103
利用者家族総数(世帯)	83
共通評価項目による調査対象者数	83
共通評価項目による調査の有効回答者数	53
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	63.9

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」60.4%・「満足」32.1%の計92.5%と高い値を得ており、設問別でも「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「戸外活動」「子どもの気持ちの尊重」など、全17問中12問で80%台～100%の高い支持を得ている。
 自由意見では「寒い中でも外遊びに積極的で、プレーパークなどにもよく出かけ、午前のみでなく午後にも外に散歩に行ってくれ、若い先生が多いが一生懸命で、絵本もよく読んでくれる」「園庭がない中でも玩具などに頼りきらず、自然のもの、人と人の信頼関係を築き、興味や関心を引き出す工夫と努力が随所に感じられ、職員の馴れ合いやギスギスした関係も見られず、1日に2回外出することもあり、気力体力ともに充実した素晴らしい園だと思う」「先生の対応や子どもたちの園での様子等の丁寧な説明がありがたく、周辺環境やいろいろな行事も充実している」「保育内容や行事など、楽しく学べるよう力を入れてくれており、保護者に負担がかからないような対応にも感謝している」などの声が寄せられている。
 さらなる向上を望む意見としては、日常の保育や安全対策、保護者の就労・負担への配慮に関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	53	0	0	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、有効回答者53人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見は17件で、「いろいろな経験ができ、自宅保育のみの時より見て学んでいるのがわかり、異年齢の子たちとの関わりが刺激になっている」「普段家でできない泥遊びなどもダイナミックにやらせてもらえ、とても楽しそうだ」「屋内外ともにいろいろな活動を行ってくれ、子どもの成長について先生方と状況を共有できている」「毎年のお泊まり保育、田植え・稲刈りは子どもも楽しみにしている」などの声が寄せられている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	52	1	0	0
「はい」が98.1%、「どちらともいえない」が1.9%となっている。 自由意見は11件で、「長距離散歩、銭湯体験、自由参加の田植え稲刈りツアーの企画など、子どもたちの目の前でクッキング(食育)など、さまざまな体験機会を与えてくれてありがたい」「いつも子どもの意見を聞いたうえで行事を作り、行ってくれている」「梅雨や外で遊べない夏の間も、室内で楽しく過ごせるよう創作活動やダンス、歌などさまざまな活動をを用意してくれている」「活動報告やわが子の様子を聞いても楽しそうにしている」などの声が寄せられている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	47	4	1	1
「はい」が90.4%、「どちらともいえない」が7.7%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は10件で、「育てた野菜でおやつを作ったり、漬けた梅干しでおにぎりを作ったり、自分で手捌きしたイワシでつみれを作ったり、いつも子どもも楽しめる作業を絡めて提供してくれる」「家では食べないものも友達となら何となく食べたり、楽しんで食べており、その時々成長に合わせた食事をきちんと提供してくれている」「とても健康的でおいしそうだ」などのほか、メニュー・食材や食事の提供量について、さらなる工夫を望む声が見られる。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	51	2	0	0
<p>「はい」が96.2%、「どちらともいえない」が3.8%となっている。 自由意見は6件で、「木登りができるようになったのは、どろんこに通ったおかげだと思い、コンビニにダンボールをもらいに行ったり、老人ホームに遊びに行ったり、地域の方々との交流の機会なども設けられている」「戸外遊び、行事ともに内容が工夫され、親子参加の行事は親も楽しみにしている」「外遊びをたくさん採り入れてくれ、どろどろになっても自由に遊ばせてくれて、制約のない環境でのびのび遊べていてとてもよい」などのほか、安全管理や行事に関する内容があった。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	1	1	9
<p>「はい」が95.5%、「どちらともいえない」が2.3%、「いいえ」が2.3%となっている。 自由意見は9件で、「電車遅延等にも柔軟に対応してくれている」「時間変更の電話の際も気持ちよく対応してくれ、いつも大変助かっている」「むしろ私が迷惑をかけることが多い中、しっかり注意しつつも対応してくれている」「とても柔軟に対応してくれ、感謝しかない」などのほか、お迎えの遅れ等への配慮について、さらなる検討を望む声が寄せられている。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	35	14	4	0
<p>「はい」が66.0%、「どちらともいえない」が26.4%、「いいえ」が7.5%となっている。 自由意見は14件で、「危なかったことは一度もない」「園での生活を実際に見ているわけではないが、今のところ大きなケガはなく過ごせているし、何かあった時はお迎えの際に報告があるので、大丈夫だと思っている」のほか、保育中の安全管理や設備面、外部侵入対策について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	40	11	1	1
<p>「はい」が76.9%、「どちらともいえない」が21.2%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は13件で、「土曜日に開催して下さるのでとても助かっている」「行事は土日に実施してくれており、大変助かっている」「親子で参加のものは土曜日が多いので、両親で参加できてありがたい」「園外のきょうだいも祖父母もいつも一緒に参加でき、感謝している」「事前に連絡をもらえており、特に困ったことはない」などのほか、行事の日程の設定や日程等の連絡などにおける各家庭への配慮について、さらなる検討を望む声が寄せられている。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	50	1	2	0
<p>「はい」が94.3%、「どちらともいえない」が1.9%、「いいえ」が3.8%となっている。 自由意見は9件で、「とても協力的で最近の様子なども尋ねて定期的に気にかけてくれる。毎日の連絡帳の量も本当にありがたい」「送迎時にいつも詳しくその日の出来事を話してくれ、トラブルの際も真摯な対応で安心感がある」「園での様子もしっかり伝えてくれるので、信頼して相談している」「ちょっとした相談でも職員間で迅速に情報共有され、すぐに面談を設定してくれた」などのほか、送迎時の職員の対応について、さらなる検討を望む声があった。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	41	7	4	1
<p>「はい」が78.8%、「どちらともいえない」が13.5%、「いいえ」が7.7%となっている。 自由意見は5件で、「野外活動が多いにも関わらず、きれいに保たれている」「先生たちがよく掃除しているのを見かけ、すぐ汚されるにも関わらず、いつもありがたいと思っている」のほか、清掃・整理整頓や感染症対策等について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	48	4	1	0
<p>「はい」が90.6%、「どちらともいえない」が7.5%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は7件で、「皆笑顔で、身だしなみも含めて好印象だ」「どの先生もいつも丁寧な対応をしてくれ、気持ちがよい」「いつも親切にしてくれている」のほか、職員の保護者・子どもへの言葉遣いや接遇などについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	48	2	3	0
<p>「はい」が90.6%、「どちらともいえない」が3.8%、「いいえ」が5.7%となっている。 自由意見は6件で、「病気の特徴や流行している事実などこと細かに、病院の先生よりも詳しく教えてくれたので安心した」「いつもよく体調の変化を教えてくれ、感謝している」「熱が出た際に、『大丈夫ですよ一気をつけて来てください』と、いつもプッシュすることなくありがたいと思う」などのほか、ケガや体調変化等の把握や保護者への伝達・報告などについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	43	7	1	2
<p>「はい」が84.3%、「どちらともいえない」が13.7%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は6件で、「幼児期にはまず介入するのではなく、見守ったり声かけをして本人たちが解決するよう促しているようで信頼でき、大人として最善の対応してくれている気がする」「事実をわかりやすく伝えてくれるので信頼でき、こちらが大したことはないと思っても、先生方は真剣に捉えてくれており、それだけでありがたい」などのほか、子ども同士のトラブルの保護者への報告・説明について、さらなる検討を望む声が寄せられている。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	51	1	1	0
<p>「はい」が96.2%、「どちらともいえない」が1.9%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は6件で、「とてもそう感じており、子どもではなく一人の個人として尊重して生活させてくれていると思う」「子どものこだわりが強いポイントを理解してくれていて、向き合ってくれて対応してくれてありがたい」「それぞれの子どものペースに合わせて、やりたいこと、思いを尊重して対応してくれる」などのほか、保育者の子ども一人ひとりへの関わりや目配りなどについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	44	4	1	4
<p>「はい」が89.8%、「どちらともいえない」が8.2%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は2件で、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	40	8	5	0
<p>「はい」が75.5%、「どちらともいえない」が15.1%、「いいえ」が9.4%となっている。 自由意見は7件で、「毎日とても丁寧に一日の出来事を話してくれるため、どう過ごしているかがわかりやすい」「日々の連絡帳でのやり取りで、その日の様子を知ることができて助かっている」などのほか、子どもの成長・発達や日頃の生活、保育内容等に関する保護者との共有 などについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	41	5	2	5
<p>「はい」が85.4%、「どちらともいえない」が10.4%、「いいえ」が4.2%となっている。 自由意見は5件で、「前に意見を言った際にうるさいようで申し訳ないと伝え、本当に快く『ご意見ありがとうございます』『ご意見はいつでもほしいです』と伝えてくれ、本当にありがたかった。普段の対応とその言動も矛盾していないので、なおさら安心感がある」のほか、保護者の不満・要望等への対応や組織内の情報共有などについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	22	15	6	10
<p>「はい」が51.2%、「どちらともいえない」が34.9%、「いいえ」が14.0%となっている。 自由意見には「入園の際にわかりやすく説明してくれ、パンフレットにも明記されていた」の1件があった。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	法人共通に掲げる理念と子育て目標を、さまざまな表現で保護者に周知させている 法人の理念「にんげん力。育てます。」には、子どもたちの“自分で考え、行動する思考”と、課題や困難に自ら立ち向かい、解決できる力を、日々の園生活を通じて培うことを目指す、法人の願いが込められている。またその実現を目指して日々提供する、子どもたちの多様な自然・労働体験やさまざまな人々との出会いと関わりなどを、子育て目標の「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」に掲げている。これらについて、保護者には見学・入園時の説明や保護者懇談会などの各種行事、日々の掲示・配信物などを通じ、理解獲得に努めている。	
	法人・園の目指すものや年度の目標等を組織として共有し、日々の取組に反映させている 上述の理念・子育て目標をはじめ、法人の目指すものや保育事業者として担う使命を、職員は入職時やその後の法人による各種研修を通じて学ぶとともに、園内における日々の会議等での実務的な話し合いと学びにより、理解が深められている。また毎年度の「策定会議」「キックオフミーティング」では、次年度の園目標や事業計画書を組織内で共有し、職員間で年度の目指す方向性を確認している。今年度は「ともに学び ともに歩み 個々が輝ける場所に」を園目標として、保育や保護者・地域支援、人材育成など各分野の重点課題を定め、取組を進めている。	
	法人・園における種々の意思決定と、必要な情報の関係者への周知の仕組みを整えている 法人内の系列園の施設長が集う会議が毎月設けられ、法人全体の施策・方針の発信と確認のほか、系列内外の種々の例の共有等がなされている。園内における運営全般の各種案件の検討・決定は、参加可能な全職員が集う毎月の「園会議」、または経営層間の随時の打ち合わせにおいてなされており、欠席者などには議事録や園内チャットを通じて必要な情報を周知させ、前述の法人の方針・事例等もこれらを通じて園内で共有されている。保護者には主にアプリによる配信と既読確認により、各種の重要な連絡事項を伝え、必要に応じ書面も併用している。	

カテゴリ-2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
実践的な計画策定に取り組んでいる		5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
今年度及び今後3か年の重点課題・目標などを示す、各期間の計画が作成されている 年度の事業計画に、法人共通の理念・子育て目標や保育において育む子どもたちの「6つの力」、併設の児童発達支援施設の理念などを踏まえ、前述の園目標と、保育や保護者・地域支援、人材育成や環境・資源保護の各分野の重点課題を定めている。また園長が年度の注力項目とする、季節に応じた子どもたちの自然体験と、前述の発達支援事業所との統合も、同様に重点課題としている。これらに加え、運営と実務の各分野における年間の取組の予定・方針のほか、末尾には当年度から3か年の「目指す姿」「重点施策」と、前年度の振り返りを併載している。 日常の実務の計画を含め、各計画に反映させるべき保護者や職員の意向を把握している 事業計画中の保育・食事・保健・安全などの各分野では、日常で実務を行うための各計画も作成され、年間計画と具体的な各期間の計画に、目標・ねらいや取組内容を定め、必要に応じた進捗確認のもとで実行している。これら及び上記の各計画には、保護者や職員の意向も適宜反映され、保護者の声は日々の交流・面談や保護者懇談会などのほか、法人が行うウェブアンケートなどから把握している。また職員の意向を、前述の各会議や園長との面談のほか、法人が行う組織運営や働く環境、同僚性・エンゲージメントなどに関するアンケートなどから把握している。 事業環境の動向に関する情報を収集し、経営状況の管理は法人・園が連携して行っている 子育てや教育、「保活」などに関する地域の状況は、入園前見学や後述の子育て支援イベントで来園する未就園世帯から、会話やアンケートを通じて把握している。また区の私立保育所園長会に加盟し、毎月入手する会議の資料からも、区内の施設経営などに関する情報を収集し、関連する行政の制度・政策や業界内の話題は、法人の各園が集う会議や行政・法人の各種通信物から随時把握している。園の年度の予算の作成や収支・稼働率等の管理は、法人が園の状況をもとに主導的に行うほか、園長も毎月の予算管理を行い、推移を法人と随時共有している。		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー3の講評		
社会人としての心得や、法人の職員に求める規範・行動特性に関する啓発がなされている 入職時の法人による研修等を通じ、就業規則や法人作成の「保育品質マニュアル」などに基づく初期教育が行われ、人権擁護や機密保持、社会人としての基礎的な素養など、法人の職員としての種々の規範・倫理が学ばれている。また法人の「コンピテンシー」に、「プロになる」「保護者の立場に立つ」「ビジネスマナー」「危機管理」など7分野で、職員に求める行動・判断の指針が示されており、この中の所定の項目・分野について、各職員が毎月セルフチェックを行い、その集約をもとに「園会議」で話し合い、園の共通課題を共有する仕組みを設けている。		
子どもへの適切な関わりの徹底を組織内で確認し、家庭での虐待等の発生にも備えている 法人策定のチェックリストにより、子どもの人権・性差への配慮や体験の保障、保護者支援などについて、全職員が半期ごとに自身を振り返るとともに、日々子どもに接する中で生じる種々の感情や、子どもへの言動に関する事例について、話し合いを通じて職員間の共感や共通理解を深め、子どもへの関わりにおける適切・不適切を考える機会を設けている。また家庭での虐待等の発生に備え、疑いや事例が生じた際の通報・連携先機関を定めるほか、発見から通報・対応までの流れ、虐待の早期発見・防止に必要な各種知見をまとめた手引書等を常備している。		
保護者の意向への対応や、地域の子育てを支援するための意欲的な取組がなされている 苦情解決制度や玄関の意見箱、日々の交流・面談等を通じて保護者の意向を把握し、内容に応じた適切な対応に努めている。またホームページや世田谷区、地域の掲示板を通じた情報発信、職場体験生の受け入れのほか、地域の子育て家庭への支援として、近接する公園での「青空保育」、園舎内に併設する地域子育て支援「ちきんえっく」での調理体験「自然食堂」や制作・自然体験「芸術学校」「自然学校」、子育て講座「寺親屋」など、多様な取組を行っている。地域の保育所・幼稚園・小学校の連絡会などを通じ、保育・教育施設間の連携にも参画している。		

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>園内外での保育活動中の種々の事故を防ぐために、さまざまな取組を行っている</p> <p>子どもの命の安全を第一に、各種事故・災害や侵入・感染症など、日常において想定されるリスクへの対策に取り組んでいる。見失い・置き去り等を防ぐための人数確認の徹底や、公園その他の利用場所のハザードマップ作成など、日々活発に行う近接の公園等での園外活動での安全確保に努めている。また子どものケガ等の保育中の事故や、関連する種々のヒヤリハットについて、発生後の園内チャットによる周知により、現場に注意を促すほか、原因や防止対策の検討は事象の重要性に応じ、予測・防止の可能性を含めて行い、予防と再発防止の徹底に努めている。</p> <p>災害・不審者への対策や、安全・保健衛生面の現場への各種啓発に取り組んでいる</p> <p>毎月の避難訓練では、一日の主な各時間帯と種々のケースを想定し、災害時の対応や保護者との連携を確認している。また法人の「クライシスマニュアル」に、当園を含む法人全体の、重大事故や災害等の発生直後から翌日までの諸対応が示されるほか、法人が災害・感染症発生時のBCPの整備・検証を進めている。また年2回の不審者侵入訓練や、看護師による嘔吐処理や心肺蘇生・AED等に関する実技講習も設けられている。毎月の「園会議」や組織内の「事故防止委員会」では、事例の共有・検討や安全・保健衛生面の各種啓発を行っている。</p> <p>情報の適切な管理・利用と漏洩防止のための環境を整え、関係者には啓発を行っている</p> <p>端末・ソフトウェア類の各種セキュリティ設定や重要書類の施錠管理など、各種情報の適切な管理と漏洩防止に配慮するほか、法人共通の「保育品質マニュアル」に、漏洩防止やプライバシー・肖像権保護の観点で、実務上の遵守・禁止事項を定めている。職員には入職時にこれらに関する啓発を行うとともに、年2回の「情報セキュリティチェック」により、全職員が書類・電子の各情報の取り扱いを振り返っている。実習生・職場体験生等には受け入れ時に守秘義務を伝え、保護者には入園時に、個人情報の利用目的や開示等の請求への対応などを説明している。</p>		

カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	3/3
組織力の向上に取り組んでいる			
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に 取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に 活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評			
<p>法人が必要な人材の確保に努め、園内の配置や労働環境の最適化にも取り組んでいる</p> <p>職員の募集・採用は、法人が特設サイトでの求人と応募受付をはじめ、多様な方法・媒体を通じて行い、各園の体制の状況に応じて配属・異動を決定しており、園内では各人の適性・経験や職員間のそれらのバランス、チームとしての相互研鑽や育成などを考慮し、各クラスの状況に応じて職員を配置している。またこれらの人事は、園長との面談等で把握した各人の意向や、それぞれのキャリア形成等も踏まえて行われている。勤怠・残業や休暇消化等の各種労務管理は園長・法人が連携して行い、各種休暇・諸手当等の法人共通の福利厚生制度も設けられている。</p> <p>職員の成長とキャリア形成の指標を定め、個別の育成と内外での研鑽の促進を図っている</p> <p>給与規程中の資格等級表に、初任者から経営幹部級までの各職責を定めるとともに、「保育品質マニュアル」中の「人材育成・研修計画」に、入職後の段階的な研鑽の指標が示されている。また各等級の職責と年度の園の重点課題をもとに成長目標を設定し、半期ごとの園長との面談による助言・指導と年度末の達成評価を行い、処遇にも反映させる、常勤者対象の目標管理制度が運用されている。職位・経験や職種に応じた法人内の各種研修や、区主催の子どもの発達や安全・保健衛生等に関する研修など、内外での職員の研鑽もなされている。</p> <p>種々の会議で日々の実務について話し合い、保育や安全面の種々の改善につなげている</p> <p>法人内外での各職員の研鑽は、報告書・資料や会議での報告によって組織への還元を促し、毎月の「園会議」では保育の活動・環境や子どもへの支援、園内及び系列内外の事故事例などについて、情報共有や話し合いを通じた課題解決がなされている。園会議では見失い・SIDS対策、水遊び事故防止や季節の感染症など、安全・保健衛生面に関する啓発や、事例を踏まえた安全対策の話し合いなども行われ、「事故防止委員会」でも同様に検討がなされている。各園の職員が参集する、保育や保護者支援の質の向上を目的とした法人内の会議も設けられている。</p>			

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>法人の運営本部が、系列各園から把握する現場の諸課題を踏まえ、毎年度の「運営本部ミッション」を定め、これを法人の理念・方針とともに、各園の事業計画や人材育成などに反映させる仕組みが設けられている。</p> <p>当園の昨年度の事業計画ではこれらを踏まえ、同計画中の「保育内容の充実・質の向上」の分野では、「子ども理解と発達に関わる知識の向上に努める」「子どもが育とうとする力を支える知識の向上に努める」など3つの「計画・ねらい」を設定し、取組を行った。</p> <p>日々の種々の保育場面で、保育者の子どもへの丁寧な関わりの実践などに課題が見られることがしばしばあり、知見や技術を組織的に高めることで、その解決と保育の充実、安全管理の徹底につなげることを目指した。</p> <p>世田谷区主催の各種研修に職員を順次参加させ、専門性の向上を促すほか、園内研修を毎月設け、法人内の「子育ての質をあげる会議」で参加職員の得た学びをもとに、グループ討議などを通じて研鑽を深めた。また区内に設けられる子どもの遊び場「プレーパーク」を主宰するNPO法人から有識者を招き、世田谷区における子育ての変遷や、子どもの創造力を広げる環境の作り方などについて、年4回の学びの場を設けた。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評</p> <p>園内研修では上述の法人内の会議で採り上げられた、法人作成の「コンピテンシー」中の「プロになる」「保護者の立場に立つ」「計画・実行する」などの各分野のほか、保育所保育指針や保育環境・保護者支援など、月ごとのテーマをもとに話し合い、保育所保育指針に示される「幼児期の終わりに育ってほしい姿(10の姿)」も適宜踏まえ、日々の保育を振り返りつつ学びを深めた。</p> <p>経営層は一連の取組を通じ、保育者間の連携が促進されるとともに、それぞれの子どもの意欲の芽、言語以外の微細なサインなどをとらえ、応答的な関わりを通じて必要な援助を考察し、提供する、保育者の技術や感性が高められ、アプローチの幅が広がり、それらが遊び・活動の広がりや子どもの心の成長につなげられ、挑戦する意欲も高められたと考えている。</p> <p>事業報告書では今後への課題として、専門的な発達理論や保育のエピソード記録に照らしての学びの充実などが挙げられている。</p> <p>今年度も「小学校1年生を見据えて、子どもが自主的、主体性を発揮できる環境構成作り」は「個々のスタッフに応じて育成計画を作成する」など、種々の重点課題を事業計画に設定し、取組を進めている。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度の事業計画の「次世代を担うスタッフ育成」の分野では、若手が現場の中核を担う組織の状況を踏まえ、リーダー層の職員間で密な連携を図りながら、職員が日々仕事に取り組む中で感じる課題や悩みなどに対し、それぞれの状況を各リーダーが把握して、対話や業務の支援などを通じて解決を後押しする、組織の体制づくりを重点課題とした。
各クラスの会議に主任が出席し、保育や各職員の状況の把握と、適宜の支援を行うとともに、各クラスリーダーには、毎日の午睡の時間などを活かし、クラス内の後輩職員と話をすることで、折々の課題や職員・保育者としての成長につれて生じる悩みなどを共有し、助言を行うよう、園長から随時促した。
またクラス会議や毎月のクラス会議では、新人・若手が意見を発信しやすい雰囲気づくりを意識するよう、各リーダーへの指導を行うとともに、目標管理制度における各人の目標設定と面談の際に、後輩の育成者やファシリテーターとしての役割を意識させるよう、育成の面で配慮を行った。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

経営層は、上述の午睡時の日々の対話は、年齢や経験年数の近いスタッフ同士で悩みを共有しつつ、課題への向き合い方などへの助言を行う、日常的な支援に活かされたと考えている。またそれらを通じた責任意識の伸長など、いわゆるスモールステップの積み重ねによる、新人・若手の成長も促された。指導役のリーダー層の職員にも、自発的に他の職員との面談やミーティングを持ち、他者の話を引き出したり、聴こうとする姿勢や、後輩との積極的なコミュニケーションを持つようとする意欲が高められたととらえている。
一方で、職員によっては自身の課題を解決することが難しいケースもあり、さらに細やかな支援の必要性も認識されているほか、事業報告書には、指導にあたる各リーダーが、対話の中でその内容を整理し、相手にも自身にも話の筋がわかりやすいように可視化する知識や技術を高めることなども、今後への課題として記されている。
今年度の事業計画では上述の成果や課題を踏まえ、「スタッフ間のコミュニケーションの向上によるチーム保育」のほか、併設の発達支援施設とも連携を密にし、「両スタッフでの子ども理解、情報共有を深めるための仕組み作り」に取り組むことも重点課題としている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評			
<p>法人・園のホームページに、子育ての方針や特色、施設の基本情報を掲載している</p> <p>法人のホームページには、法人が子育てについて大切にしている考え方をはじめ、「どろんこの子育て4つの軸」「どろんこの子育てで身につく6つの力」として、その実践を写真を添えて紹介している。また当園のページに、施設の基本情報を掲載するほか、園だより、食育・保健だよりや、日々の生活と遊びの様子を紹介するブログも見られるようにしている。その他にも一時預かりの対象年齢・保育料、併設する児童発達支援施設や地域子育て支援センターの情報も掲載するとともに、入力・送信フォームを設けてウェブ上で問い合わせができるようにしている。</p> <p>入園希望者の見学を受け入れ、園の保育の特徴を伝えている</p> <p>見学希望者の受け入れは、11時頃から1時間を目安に実施しており、食事の様子を観てもらおうようにしている。園だよりや献立、「入園のしおり」を手渡し、同しおりをもとに、保育内容や施設内の説明を行っている。見学者には、戸外での活動で身体を鍛えることや、食事をしっかり摂ること、「大きなおうち」をテーマに異年齢で過ごしていること、個々の意向や気持ちを尊重しつつ、体験も保障できるようにしていることなどの保育の特色を伝えている。また行事内容や登園時間の協力依頼、持ち物や延長保育の仕組みなどについても説明するようにしている。</p> <p>「入園のしおり」に理念等の説明を掲載し、地域活動を通じて園の専門性を発信している</p> <p>見学者に手渡す「入園のしおり」には、法人の子育てや保育に対する考え方や、上述の6つの力、運営理念やデイリープログラム、園と家庭との連絡ツール等に関する内容を掲載している。また園で人気のおやつや軽食を楽しく作る「自然食堂」、制作や表現体験を楽しむ「芸術学校」など、地域の子育て支援にさまざまに取り組み、育児相談にも随時応じるなど、未就園世帯が施設選択の参考となる園の専門性に触れる場ともなっている。世田谷区のサイトにも、所在地・連絡先・アクセスなどの園の概要のほか、保育方針、施設コンセプトなどが掲載されている。</p>			

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園に際して「入園のしおり」と重要事項説明書による説明を行い、同意を確認している</p> <p>入園予定の家庭を対象に、「入園のしおり」を用いて重要事項を説明する機会を設けており、保育内容や利用に関する留意点、与薬の流れや苦情解決体制など、利用開始に必要な各種の重要事項を説明している。説明は園長が担当することとし、特に利用料金・延長保育予約に係る部分については、誤解のないよう丁寧な説明を心がけている。また重要事項説明書の読み合わせもを行い、項目ごとに保護者にチェックマークを記入してもらい、同意の確認とするほか、個人情報の利用に関する同意、肖像の利用に関する可否についても確認している。</p> <p>入園が決定した保護者を対象に面談を実施し、把握した情報を職員間で共有している</p> <p>保護者には保育開始に必要な、保護者や子どもに関する情報を入力するアプリケーションの使用方法に関する資料を配付し、面談当日までの入力を依頼している。面談時には「入所前児童面談票」を用いて、通園経験や心身の発達状況、生活リズム、既往歴等を聴き取っており、気になる点がある場合には備考欄に記載し、把握した情報は職員間で共有することとなっている。また食事や健康に関する特段の配慮が必要な場合には、看護師・栄養士からの聴き取りも実施しており、その後の適切な個別の援助につなげている。</p> <p>入園時の子どもの負担の軽減や、卒園後の就学に向けた不安への配慮に取り組んでいる</p> <p>入園直後の子どもの負担や不安を軽減できるよう、徐々に保育時間を延ばしてゆく「慣れ保育」を実施し、子どもの集団保育の経験や保護者の就労復帰の予定を踏まえ、面談時に保護者と相談して10日を目安に期間を設定している。また登降園時には保護者に子どもの園での様子を詳しく伝え、家庭での様子等を聴き取るほか、入園後にも不明点や不安なことがないかを尋ね、再度丁寧な説明を行うなど、保護者の不安の軽減にも努めている。5歳児世帯には就学に向けた相談に対応し、就学支援シートの作成に応じるほか、関係機関との情報共有を行っている。</p>			

サブカテゴリー3		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	13/13
3	個別状況に応じた計画策定・記録		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	

評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>保育開始に必要な情報を把握し、安心して園生活を始められるようにしている</p> <p>入園家庭には、既往歴・離乳食・排せつなどの子どもの現状について、ウェブ上の入園申込(健康等調査票・成育歴)フォームへの入力を依頼し、その記載をもとに個別面談を行い、生活リズムやアレルギーの有無、離乳食の進捗など、必要な情報を把握している。また「青空保育」に誘いかけ、保育の様子を見てもらうなど、保護者の入園前の不安軽減にも努めている。把握した情報は職員間で共有し、安心して園生活を送れるよう、環境などに反映するようにしている。全体説明では、保育内容や写真販売、個人情報の取り扱い等の説明を行い、同意を得ている。</p> <p>各計画類から保育を展開させ、子どもの成長の推移を見守り、必要な援助につなげている</p> <p>年度末に園長が全体計画などの振り返りを行い、次年度の計画立案を行うほか、子どもたちに必要と考える経験を保育士が提案する「年間計画プロポーザル制度」をもとに「策定会議」を開き、行事や各種計画類に反映させている。年間計画は担当が4期に分けて作成し、期ごとの反省を次期に活かすことで、子どもの成長の推移を見守り、適切な支援や援助につなげている。乳児は毎月個別計画を作成し、個々の子どもの成長と課題の把握に努めており、幼児でも成長が気になる児童については個別計画を立案し、個々のペースを尊重した成長の支援につなげている。</p> <p>保育内容等に関する保護者との共通認識を深めながら、日々の実践にあたっている</p> <p>日々の保育や行事の実施にあたっては、保護者の理解や共感を得られるよう努めている。懇談会を年2回開催し、子どもの取組や成長を動画などで紹介し、園の保育や取組への共通理解が深まるようにしている。入園間もない家庭や個別の配慮が必要な家庭には積極的に声をかけ、日々の成長を伝えたり、保育参加を促すほか、適宜面談を行い、子育ての楽しさや悩みを共有している。これらの取組で把握した内容は、会議での報告により職員間で共有し、保育環境の見直しや援助の検討につなげ、個々に応じた適切な対応が図れるよう取り組んでいる。</p>		

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>個人情報の適切な取り扱いや、子どものプライバシー・羞恥心への配慮に取り組んでいる</p> <p>入園時の説明で個人情報保護の方針を保護者に伝え、外部とやり取りする際には、適宜同意を得てから進めることとしている。日々の活動を伝える掲示物や連絡システム内での写真掲載、散歩中の名札着用の可否などについても同意を確認し、適切な対応につなげている。また、乳児のおむつ交換の際には、衝立により他者の視線を遮るようにしており、日々の生活場面での着替えや排せつの援助でも、個々の発達に応じて芽生える羞恥心などへの配慮に努めている。園舎の構造なども考慮し、それらの援助におけるプライバシー保護等へのさらなる工夫も期待される。</p> <p>子ども一人ひとりの特性や体質、家庭の意向への配慮に努めている</p> <p>集団生活の場である園生活においても、子ども一人ひとりの特性や体質、家庭の意向への配慮に努めており、食物アレルギーや信仰上の戒律などへの対応のほか、集団活動への参加や、保育室内で過ごすことが難しい場合には、事務室で園長・主任が対応し、子どもが安心して過ごせるようにしている。また好天時には毎日出かけている散歩では、前日に行き先を2か所提示して選べるようにし、制作活動を実施する際は一斉には行わず、少人数で誘いかけるようにするほか、個々に応じた睡眠の確保など、子どもの生活リズムや体力等への配慮にも努めている。</p> <p>不適切な保育の防止や、家庭内の虐待の早期発見に向けた取組を行っている</p> <p>保育者による不適切な保育の防止に向けて、「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」による確認を行うほか、園内研修では、園児に対する関わりや発言の不適切な事例と、その現場を目撃した時に自分ならどう対処するかを考えたり、保育実践の各場面における保育者の心情を職員間で話し合ったりしている。家庭内の育児不安や虐待の早期発見に向け、身体に傷やあざを発見したり、気になる様子や行動が見られたりした場合には、組織内のグループチャット機能を使用して情報を共有することとし、保護者への確認や援助につなげている。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5 / 5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>系列園共通の各種のマニュアルにより、業務の基本を示している</p> <p>系列園共通の「保育品質マニュアル」や「保育運営管理マニュアル」には、保育計画・保育内容等の保育実践に関するもののほか、虐待・衛生管理・感染症等のリスクマネジメント面、入園や退園時の手続き、勤怠管理等の事務的な内容など、業務全般に関する基本的な考え方や、業務遂行時に必要となる手順・留意点を記載している。これらのマニュアルには職員の読解を助ける写真やフロー図のほか、チェックリスト・資料も掲載されており、いつでも確認できるよう備え置いている。また保育品質マニュアルは入職時に全職員に配付し、通読を促している。</p> <p>現場で必要なマニュアルを用意し、実技研修を行うなど、適切な業務遂行に努めている</p> <p>保育現場での即時対応や随時の確認が必要となるものについては、上記のマニュアルを抜粋したものを用意するほか、適宜チェックリスト等も作成して確実な業務遂行につなげている。また組織内SNSを活用した情報共有の仕組みを整え、業務上の留意点・連絡事項などは随時・即時に共有し、写真も掲載できる仕様となっているほか、チャットの見逃しによる情報の不達を防ぐため、重要度の高い内容は口頭での確認も行うようにしている。嘔吐処理の手順やAEDの使用、種々のSIDS対策等の確認や毎月の避難訓練など、実践面の対応の確認もなされている。</p> <p>職員の気づきや保護者の意見を参考にした、安全面や業務の見直しに取り組んでいる</p> <p>法人共通のマニュアルの改定は、行政の通知などを踏まえて施設長が提案しており、変更内容は各園に展開され、職員にも周知が図られている。園が注力している戸外活動を安全に実施するため、散歩先の状況やルートに関する情報は随時更新するとともに、3か月に一度は担当が確認し、変更点を明示して職員間で共有している。施設内の安全面の点検は毎日行うほか、年齢別のチェックリストを用いた定期的な点検も実施している。また保護者の意見を改善に活かしており、今年度は玄関の危険箇所にはクッション材をつけるなどの安全対策が講じられている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36 / 36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの主体性を大切にしたい、園内外でのさまざまな活動と環境の工夫に努めている</p> <p>法人共通の「私たちが育てる6つの力」をもとに保育環境を構成し、子ども主体の生活となるよう保育を行っている。年度初めは情緒の安定を考慮して乳児・幼児を別にして支援を行うほか、個々の生活リズムに応じて食事や睡眠などにも時差を設け、子どもたちの成長や興味・関心の広がりによって、異年齢保育の中で子ども同士の関係性が深まるようにしている。また「やってみよう」と自己決定をする場面や、「できた」などの自己肯定感の育みを大切に、机上での多様な遊び、戸外活動や畑作業などの内外での活動や、人的・物的環境の保障に努めている。</p> <p>児童発達支援施設が併設される環境も活かした、個別の育ちの特性への支援に努めている</p> <p>個別配慮が必要な子どもには、専門機関と連携しながら保育を進めている。併設の児童発達支援施設「つむぎ」とも、相互の利用児が適宜生活や活動をともにするほか、同施設の専門職のアドバイスも園の保育に反映され、園の保育者が保育に活かせる援助方法を学んでいる。子どもたちが個々の特性の違いによらず、ともに過ごし、関わり合いながら、「したいと思う活動」「できる活動」に取り組める環境を整えようと、その中でお互いを認め、尊重する気持ちが育まれるよう支援している。そのための個別の発達の把握や、最適の配慮の検討にも努めている。</p> <p>日々の生活体験や異年齢の関わりが子どもの心を育て、就学に向けた取組も設けている</p> <p>園が大切にしている上述の6つの力と、保育指針におけるいわゆる「10の姿」を意識しながら保育にあたっている。日々の生活の中で、米を炊く経験や生き物の飼育、幼児が乳児と連れ立って出かける散歩など、自発的に取り組む活動を通じて、年上児は年下児の手本となり、自信を持って過ごせるようしている。また5歳児は就学に向け、小学校の学校公開で校内探検を行うほか、校庭で遊んだり、席に座ったりして就学への期待を高めており、保護者とも就学前に面談の場を設け、小学校入学に向けた話をするなど、家庭の不安の軽減にも配慮している。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの状況を把握し、降園時には保護者に子どもの様子を伝えている 登園時には、アプリの連絡帳の情報のほか、保護者から家庭での様子を聴き取り、「お迎え伝達シート」に記して必要な配慮等につなげている。前日のケガや保護者から聴き取る健康状態なども同ノートに記し、翌朝に状況を尋ねるほか、早急に共有すべき内容があればチャット機能で職員間の共有を図っている。一日の様子も同ノートに記し、降園時に保護者に口頭で伝えるよう努めるほか、玄関前に一日の活動や行事への取組を写真付きで掲示することで、子どもの育ちを保護者と共有し、取組への理解が得られるようにしている。</p> <p>各々のペースで、無理なく、意欲的に生活能力を高めていけるように援助している 毎日の保護者との会話や個別計画をもとに、各々のペースで生活能力が向上するよう支援している。排せつの自立は3歳までを目途に、家庭と連携しながら個々のペースで行っており、失敗や成功の体験の積み重ねから、無理なく自立に導くようにしている。乳児の食事は手づかみ食べを十分に行い、自分で食べられた喜びを感じられるようにしている。食具の使用は、自ら食具を選ぶようにしており、成長段階の異なる子と一緒に食べることで、違いに気づいて興味を持ち、箸への移行に導くなど、園生活でのさまざまな体験から生活能力向上への意欲を促している。</p> <p>休息は子どものペースで取れるよう、環境の工夫や援助・配慮に取り組んでいる 子どもが安眠するための工夫として、湿度や温度、採光の調整を行っている。乳児は発達段階に応じて午前寝や夕寝もできるようにしており、ゴロゴロしたり、ゆったりと過ごしたりできる場所を用意している。また睡眠時には、規定時間ごとに身体に触れ、身体の向きなど確認をするほか、子どもの様子を観察して急な体調変化にも対応できるようにしている。幼児も日中活動で疲れた身体を休められるよう、昼食後の自由遊びは静かに絵本を読んだり、時には読み聞かせを行ったりして、情緒を安定させ、眠くなった子どもから布団に入れるようにしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>園内外のさまざまな環境の活用や保育の取組により、自主性・自発性が育まれている</p> <p>子どもたちが主体的に過ごせるよう、園内や玄関周辺を活用するなど工夫を凝らしている。登園後から子どもたちの主体的な遊びが始まっており、乳児か幼児の部屋を自分で選んで過ごせるようにしている。動と静のさまざまな遊びのコーナーの中で、異年齢の子どもたちが社会を構成し、工夫や協力をし合い、遊びが発展していくような環境構成に努めている。また、季節の作品作りなどを行い、少人数でゆっくりと過ごせる空間も確保しながら、職員がそばに寄り添い、遊びの伸長に応じて必要な教材を提供し、子どもがより主体的に遊び込めるよう配慮している。</p> <p>自発的な活動から生まれる子どもの声や気づきを大切に保育を展開している</p> <p>全園児が積極的に戸外活動に出かけ、季節の移り変わりを感じている。朝の会では子どもと一緒に遊びの目的や場所を決めており、意見を出したり、話を聴いたりすることで、言葉に対する感覚も養えるようにしている。また散歩先では木登りや集団遊びを楽しむほか、自然物を収集して色を塗ったり、作品を作って飾ったり、ごっこ遊びの道具に使用したりなど、さまざまな表現活動に展開させている。季節の野菜を育て、収穫を楽しんだり、幼虫やウサギの飼育を行ったりするなど、四季折々の多様な活動を通じて、表現する楽しさや生命の大切さを感じている。</p> <p>主体的な遊びや活動の中にある、ルールやマナーを身につけられるよう援助している</p> <p>子どもの主体的な生活や活動を保障しながら、ルールなどを知る機会を設けている。散歩先や個別活動のスケジュールを自分で決め、見通しを持って過ごせるようにしたりなど、園生活の中で自己決定を行う機会を多く設けている。また、一日の折り紙の使用枚数を子どもたちで話し合ったり、「もったいないBOX」を設置してリサイクルや物の大切さを学べるようにするほか、戸外活動では「散歩ハザードマップ」を活用し、交通ルールや公園使用時の注意事項を確認するなど、生活の中にルールや決まりがあることを知り、身につけられるよう援助している。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの興味や関心を引き出し、主体的に行事に取り組めるようにしている</p> <p>子どもの興味や関心を引き出しながら、主体的に行事に取り組めるよう工夫している。運動会に向けて保育者が子どもと話し合う場を設け、興味のある事柄や日々の遊びを競技に採り入れ、巧技台などを使った運動サーキットやリズム遊び、縄跳び、バルーンなど、できるようになった種目の披露も行っている。また運動会は保護者参加で実施し、乳児は園内でふれ合い遊びを行うほか、幼児は駒沢公園で、騎馬戦やタイヤ転がしなどの親子競技、保護者や職員も参加する対抗リレーに取り組むなど、一緒に楽しみながら、子どもの成長を感じられる行事となっている。</p> <p>子どもの興味・関心を行事内容に反映させ、より自発的に取り組めるようにしている</p> <p>各行事の取組は当日までの過程を大切に進めることで、皆で協力しながら、より達成感を感じられるようにしている。保育者は子どもの興味や遊びを観察してから提案したり、子どもと話し合う場を設けており、「年末お楽しみ週間」ではクリスマスから連想された子どものやってみたいことを具現化し、バスボム作りや映画上映コーナー、陶器作りにもチャレンジするほか、「作品展」では皆で作り上げるジオラマや、少人数で木の美や枝でケーキを作るなど、子どもの遊びの幅に沿って、期間を設けて取り組むことで、さまざまな表現に取り組めるようにしている。</p> <p>子どもたちが仲間と協力して達成感を味わい、保護者とも楽しめる行事を企画している</p> <p>子どもたちが協力して達成感が味わえる行事を実施している。毎年「夏祭り」では、「どろんこサポーター」として保護者も企画から参画している。当日は、的当てや忍者になりきって遊べるコーナーのほか、親子で作るキャンドルやお面作りの制作など、保護者も低年齢の子どもも楽しめるよう工夫されている。また、焼きそばなどの軽食や子どもたちが作った梅ジュースも提供している。これらの行事に向けて取り組む子どもたちの様子は、玄関やピロティで「ドキュメンテーション」として可視化し、ともに期待感を高めながら行事を迎えている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>在園時間が長くなる場合でも、遊びが停滞しないよう保育環境の工夫を行っている</p> <p>在園時間が長くなる場合でも、子どもがやりたい遊びで遊び、過ごしたい場所で過ごせるよう配慮し、情緒の安定を図っている。乳児は各コーナーの遊びや、夕寝もできるように環境を整え、個々の生活リズムで過ごせるようにしている。2歳以上児はワンフロアで過ごしており、カードゲームやパズルなどの机上遊びや自由制作など、さまざまな場面で異年齢で関わり合っており、ルールや遊びを伝え合いながら楽しんでいる。また夕方までピロティで身体を動かしたり、室内を動と静の空間に別けて使い分けたりするなどして、遊びが停滞しないよう工夫している。</p> <p>保育形態に変更がある場合でも、子どもが安心して過ごせるよう配慮している</p> <p>子どもが長時間を園で過ごす中で、保育形態の変化がある場合も安心して過ごせるよう工夫している。日中の活動や子どもの様子などを職員間で共有し、日中の遊びの続きも楽しめるようにしているほか、遊びたい玩具や場所を選び、思い思いに過ごせるようにしている。また身体を横たえることができるようマットを敷き、職員がゆったりと絵本の読み聞かせをしたり、膝の上でスキンシップを図ったりして、心身ともに落ち着いて過ごせる場所も用意している。夕食を提供する際は、職員と会話を楽しみながら食べるなど、家庭的な雰囲気も大切にしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>個々の意欲に合わせ、友達と過ごす楽しい食事の時間となるよう配慮している</p> <p>「楽しく食べる食事」を基本として、2歳以上児はバイキング形式で食事を摂っており、たくさん遊んで、お腹が空いて食べたいと感じた時に食事を摂れるよう、提供時間にも工夫している。また配膳や下膳を自分で行うほか、自分が食べたい量を取り、苦手な食材は減らすこともできるようにして、楽しく食べながらマナーを学び、自立した食事の時間となるよう取り組んでいる。子どもの誕生日には、誕生日プレートに旗を立てて特別感を味わえるようにしているほか、毎月実施の「遠足メニュー」は、シートを敷いて好きな友達と一緒に食事を楽しんでいる。</p> <p>子どもたちがさまざまな食の体験ができる食事を提供し、アレルギー対策を講じている</p> <p>法人が作成する献立をもとに、旬の食材を使い、素材の味を活かした食事提供を心がけている。下膳時には栄養士が子どもや職員の声を聴き、切り方や食材の硬さ、味つけなど、次月での改善に活かしている。また四季や伝統行事を感じられる、見た目にも楽しめるメニューを提供し、行事の由来を知ったり、季節を感じたりできるようにしている。食物アレルギーへの対応は、「除去食申請書」等の書面をもとに保護者と面談し、対応への理解を得てから除去食の提供にあたっており、提供時もダブルチェックを行うなど、安全な食事提供となるよう努めている。</p> <p>多様な食育の取組を通じて、さまざまな物事への興味・関心の伸長を促している</p> <p>年間を通じて、子どもの食への関心や意欲を高めるさまざまな活動を行っている。近隣の畑を借りて野菜の栽培や収穫を楽しみ、収穫した野菜は子どものリクエストに応じてフライドポテトや人参の葉の天ぷらにするほか、人参ケーキや夏野菜ピザなどの献立にも採り入れている。またマグロの解体ショー、アレルギーに配慮した米粉でのちんすこう作り、「マルシェ」での収穫した野菜の保護者への販売など、多様な食育の取組を通じて、生と死、人との違い、お金と物の価値など、子どもたちのさまざまな物事への興味・関心の伸長を促す工夫もなされている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが衛生感覚や健康維持のための所作を身につけられるよう指導を行っている 生活するうえで必要となる能力の獲得や習慣の定着への援助は、乳児クラスで清潔になることの心地よさを言葉を使って伝えるなど、衛生感覚を育むところから始めている。手洗い指導は一緒に行いながら手順を伝え、必要な理由や場面についても伝えるようにしており、丁寧な手洗いを意識できるよう、洗い残しを可視化する機械を用いた確認も行っている。また歯磨きや水分補給と発汗後の着替え、咳エチケットや鼻かみ、排便後の処理などの保健指導も実施するほか、幼児にはプライベートゾーンに関する話を通じて、命の大切さについても伝えている。</p> <p>子どもの安全やケガ防止への意識を育み、体幹や柔軟性を養う活動を採り入れている 子どもが安全を意識できるよう、危険な行動があった場合には、その場で注意喚起するだけでなく、朝の会や終わりの会の際に、どうしたら防ぐことができたかを考える機会を持つなど、子どもが自ら考え、安全に行動できる力を育むことを大切に考えている。戸外活動に出かける際には、交通ルールや公道・公園等での危険について伝え、はさみなどの危険を伴う道具を使う際にも、使い方や留意点を伝え、避難訓練では標語を用い、身を守るための行動を教えている。またケガをしにくい身体づくりに向け、体幹を鍛え、柔軟性を養う活動を採り入れている。</p> <p>日常の健康維持に向けた各種対策を講じるほか、服薬介助の仕組みも整えている 子どもの健康維持に向けた取組として、視診や検温、室温・湿度の管理、猛暑時の外出の自粛、SIDS対策などを行うほか、嘱託医との連携や保護者への情報発信に取り組んでいる。感染症に関する情報を保健便りに掲載するほか、園内で感染症が発生した場合には、状況等を連絡アプリでの配信や掲示により保護者に伝えている。服薬の介助は、薬と「薬剤情報提供書」「与薬依頼票」を揃えたうえで、複数職員との立ち会いのもとで行うほか、預かった薬は番号札で管理して視認性を高め、服薬介助がある場合には、当日に職場内SNSで情報を共有している。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の事情や子どもの特性等への個別配慮に努めている</p> <p>保護者の就労事情等の状況は、入園時の面談や書類のほか、日々の送迎時の対話、希望や必要に応じて随時実施する個人面談などを通じて把握に努めている。勤務や通院、交通機関の乱れなどによる、急な利用時間や利用日の変更には柔軟な対応を心がけ、補食・夕食の提供も行っている。また保護者の育児に関する考え方や、子どもの体質や特性のほか、文化的な背景などについても把握し、食物アレルギーや宗教的な禁忌に対応した除去食を提供したり、服薬の介助を行ったりするなど、個別の援助・配慮に可能な範囲内で応じている。</p> <p>保護者同士の交流機会を設け、保護者との信頼関係を深められるよう努めている</p> <p>保護者同士が交流し、親睦を深めることができるよう、入園式後に顔合わせの時間を設けるほか、保護者会では小グループに分かれ、保護者同士で育児に関する話などの自由な懇談もできるようにしている。また「どろんこ祭り」の際には、保護者に準備の協力を呼びかけ、参加者が交流しながら準備にあたっている。保護者との信頼関係を深められるよう、降園時には「3分間対応」を基本に、できる限り日々のエピソードを伝えたり、保護者の疑問や不安を聞き取ったりするなどの対応に努めるほか、保育参加を実施し、保護者と子どもの姿を共有している。</p> <p>保護者の意向の把握に努め、育児の参考となる情報の提供を行っている</p> <p>保護者の意向は、送迎時の対話や個人面談のほか、意見箱の設置、利用者アンケートなどを通じて把握に努めている。周辺の公園の内容や危険箇所などを記した「お散歩マップ」を玄関に常置し、自由に閲覧できるようにするほか、保護者会では、子どもの発達の特徴や今後の見通し、援助の工夫などを伝えるなど、育児の参考となる情報の提供を行っている。また子どもたちの活動の様子を写真とともに紹介したり、「給食・保健だより」を発行したりするほか、保育参加の際には、給食を試食して味つけ等を知ってもらうなど、さまざまな取組を実施している。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>近隣の公園などの地域資源を活用した戸外活動は、さまざまな体験の機会となっている</p> <p>地域資源を活用した戸外活動を実施しており、四季折々の草花の色の変化や気温の寒暖などから自然や季節を感じるほか、動植物の収集や観察を楽しんだり、自然物で見立て遊びをしたりし、自然物を園に持ち帰って制作活動に活用している。また気づいた不思議な事象について図鑑で調べたり、雨の日散歩を採り入れたりするほか、弁当を持って出かけることもある。火起こしやノコギリなどの道具を使って遊べる「プレーパーク」では、焼き芋や木登り・泥遊びなどを楽しんでいる。また戸外活動は、交通ルールや公の場でのマナーを学ぶ機会にもなっている。</p> <p>子どもたちが地域社会の一員としてさまざまな職業を知る機会を設けている</p> <p>自分たちが過ごす地域社会におけるさまざまな職業と、その内容を知る機会となるよう、商店街をまわり、店内を見学して店の方から話を聴く活動に取り組んでおり、年間の予定を立てて実施している。商店は自転車屋・パン屋・八百屋・魚屋・洋品店など多岐にわたり、子どもたちの興味・関心を広げるきっかけとなっており、郵便局に見学に出かけた後に、郵便のシステムを学び、園にはがきを出してみるなど、園外での体験が、さらなる活動への広がりにつながっている。また「お風呂の日」として実施している銭湯でも、地域の方とのふれ合いが持たれている。</p> <p>多様な機会を設け、子どもたちがさまざまな人と関わることができるようにしている</p> <p>近隣の高齢者施設に赴き、折り紙などの遊びを一緒に楽しむほか、ハロウィンの際には、仮装して近隣の商店の方とのやり取りを楽しんでいる。消防署員を招いて避難訓練を行っており、緊急時に自分の身を守るための行動や動作などを学ぶほか、保育士の実習生や小中学生の職場体験の受け入れでは、学生と子どもたちとの関わりが持たれており、子どもたちにとっては園の職員以外の人と、保育を通じてふれ合う機会となっている。またヤギを飼育している系列園にバスで出かけるほか、「どろんこ祭り」は近隣に開放するなど、多様な人との交流が図られている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル①	地域における保育と子育ての社会資源として、積極的な地域貢献に努めている	
内容①	園内に地域子育て支援「ちきんえっぐ」を併設し、地域への子育て支援を活発に行っている。園で人気のおやつや軽食を楽しく作る「自然食堂」、「芸術学校」での制作・表現体験、近接する駒沢公園での「青空保育」など、親子で楽しむイベントのほか、絵本の読み聞かせなどの保育の専門性を保護者に伝える「寺親屋」など、多様な企画を実施し、平日・土曜日には室内遊びのスペースとして同センターを開放している。また来園した子育て家庭の育児相談にも随時応じるなど、保育と子育ての社会資源として、積極的な地域貢献に努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	地域資源を活用した活動を通じて、子どもたちがさまざまな体験をしている	
内容②	体験から興味や関心を広げられるよう、地域資源を活用した多彩な活動を行い、多様な人との関わりが持たれている。公園や近隣の「プレーパーク」に出かけて自然に触れたり、身体を存分に動かしたりするほか、自然物を活用した制作や調べものにも取り組んでいる。また「商店街ツアー」と題して店舗の見学と店員へのインタビューを体験し、ハロウィンでは仮装して商店をまわり、お菓子のやり取りを楽しみ、高齢者施設では折り紙遊びなどを通じて高齢者と交流している。消防署員による避難訓練も行われ、保育実習生や保育体験の小中学生とも交流している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員が話し合う場をさまざまに設け、その中で現場の同僚性や規範意識も高められている	
内容③	職員同士で話し合い、気づきや保育観・子ども観を伝え合う場を活発に設けており、法人策定のセルフチェックリスト「コンピテンシー」に示される自己啓発項目や、法人共通の年度の「運営本部ミッション」などをもとに、事例共有やグループ討議を行っている。虐待にあたる園児への言動や望ましい関わり、各人が体験した「神対応（配慮に満ちた心地よい接遇）」等のテーマを通じて規範意識を高めたり、保育者の感情を乱す子どもの言動を考えたりする中で、共感を深めつつ子どもに向き合う姿勢を確かめ合うなど、組織的な研鑽と認識共有の場となっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	育てる・食べるにとどまらず、家庭の食生活への反映にも配慮した食育活動により、子どもも保護者も食をより楽しめるよう工夫している
	内容	全園児が日常的に土に触れられるように機会を設け、季節ごとの野菜の栽培・収穫に取り組むとともに、収穫物は給食や調理保育で食すことで、子どもたちが季節や食材の旬に親しみ、食物への感謝の気持ちや命の大切さを感じられるようにしている。また栄養士が朝食に関する保護者へのアンケートを実施し、結果をもとに朝食の大切さを伝えるほか、家庭の負担軽減などに活かせるよう、冷凍離乳食や朝食の時短メニューも紹介するなど、さまざまな取組により、子どもや保護者が食を身近に感じ、興味・関心をより深められるよう配慮している。
2	タイトル	子どもの自発性を尊重して取り組む多様な活動が、一人ひとりの心身の成長を促し、園生活をより豊かなものとしている
	内容	子どもの興味や意欲を起点に、さまざまな活動に展開させ、心身の成長を促している。毎日の戸外活動では、子どもの興味ややりたいことに応じて場所や遊びを決め、「虫眼鏡探検」と題して生き物探しを行い、飼育に取り組んだり、木の実や落ち葉を収集して制作につなげたりするほか、子どもが見たこと・感じたことに共感しながら、多様な活動に展開させている。また畑では雑草取りや追肥なども行い、収穫した野菜を「マルシェ」で保護者にも販売するなど、やってみたいことに保育者が共感して保育を展開させ、子どもの情操を豊かに育んでいる。
3	タイトル	子どもが身体や健康への興味を持ち、安全への意識や身を守るための所作を身につけられるよう、保健指導や安全教育を実施している
	内容	必要な生活習慣を身につけられるよう、看護師と保育者が連携を図りながら手洗い指導や歯磨き指導を実施するほか、日々の保育においても衣服の調節や発汗後の着替え、水分補給の大切さ、排便後の処理などの所作の定着に向けた援助を行っており、プライベートゾーンに関する話を通じて、自分や友達を大切にすることも伝えている。また戸外活動の際には交通ルールを、はさみやノコギリなどの危険を伴う道具を使う際には使い方や留意点を伝えるほか、避難訓練では自分の身を守るための行動や動作について教えるなど、安全への意識を育んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育の評価・反省や計画立案には、日々つながり、発展してゆく子どもたちの活動を支えるための、さらなる工夫の余地も見られている
	内容	子どもの生きる力を育む保育を各計画類で立案し、成長の推移を見守っており、「策定会議」で年間計画を作成して、「子どものいま興味あること」を観察し、月・週案に盛り込みながら保育にあたっている。これらの保育は時に月や期を超えて展開され、各会議でも共有されているが、年間計画の毎期の振り返りや、月・週の計画における、前述のさまざまに連続し、発展してゆく子どもたちの遊びと育ちへの配慮など、さらなる検討の余地も見られている。遊びと生活のつながりの中で育まれる子どもたちの育ちを、より効果的に支援するための工夫を期待したい。
2	タイトル	安全の確保・向上に向けた園のさまざまな取組を、保護者により「伝わるように伝える」ための工夫にも取り組まれたたい
	内容	利用者調査では総合・質問別とも概ね高い支持率を得ているが、安全対策については、他の質問との相対比較で言えばさらなる信頼獲得の余地もうかがえる。防災・防犯訓練、事故・ヒヤリハット事例の組織内SNSを活用した迅速な周知とその後の原因・対策の検討、それらを含む「事故防止委員会」の活動など、安全の確保・向上に向けた多様な取組がなされており、それらを保護者に「伝わるように伝える」ための工夫も、保護者の安心材料として有効ではないかと思われる。「安全計画」の保護者へのより詳細な発信と併せ、今後取り組むことが期待される。
3	タイトル	毎年度の事業計画立案をはじめ、現場の中核を担う若手・中堅層の当事者意識をより高めるための機会づくりも期待される
	内容	経営層は現場の中核を担う若手・中堅層が、リーダー層と同様の視野や気概を持って仕事に取り組み、主体的に園の運営に関わる組織づくりを目指している。毎年度の事業計画に定める各分野の重点課題や、同計画に併記される3か年計画をはじめ、園の今とこれからを現場とともに考える機会を意識的に設けることも、その一助となるのではないかと。職員自己評価では集計値・自由意見とも、同僚性やエンゲージメントの高さをうかがわせる結果が示されており、その活力をより高める、各職員の当事者意識の促進を意識したマネジメントの工夫を期待したい。